

先生方へ

学校における 避難訓練のあり方について

～実効性の高い訓練を実施しましょう～

避難訓練のあり方について、一緒に考えてみませんか。

皆さんの学校で実施している避難訓練を思い返してみましよう。

これまで避難訓練は、児童や生徒に避難の仕方を教えるだけの「児童や生徒達のための避難訓練」になっていませんか？

児童や生徒が安全に避難するためには、先生方が各自の役割を理解した上で、連携して初動対応をとることが不可欠です。

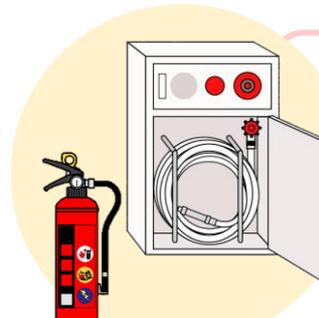
119番通報してから消防隊が到着するまでの間に、児童や生徒をどのように避難誘導し、火災による被害を最小限に抑えられるかが、先生方の役割となります。

もしもの火災に備えて、日頃から自己の役割や対応、措置について確認し、成果や課題を話し合っていく…。

学校における避難訓練は、そういった場であるべきだと思いませんか。



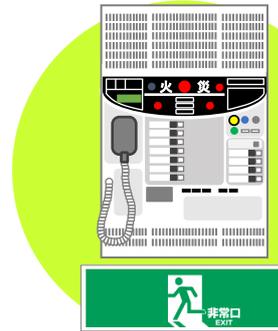
自動火災報知設備が
鳴動したら…
何をすべきか
分かりますか？



いざ！というときに、
消火器や屋内消火栓
設備を使うことが
できますか？



火災は、119番。
ところで、どのタイミ
ングで誰が行えば
よいのでしょうか？



放送設備で避難指示！
火災により、いつもの
避難経路が通れない場
合も…



学校内にある防火戸
の位置、役割を理解し
ていますか？

避難訓練は、「子どもたちのため」だけでなく、「先生方のため」というねらいもあります。



裏面の「総合訓練」を年1回以上実施しましょう！

総合訓練(消火・通報・避難)

「基本的な初動フロー(例)」と「行動のポイント」

